

2024 春闘第 1 回団交「賃金問題」 ベースアップゼロの回答に怒りの声を 届けましょう

2001 年以降慶應義塾ではベースアップ（ベア）がありません。歴史的な物価高騰の中、実質賃金は下がり教職員の生活は苦しくなっています。政府も賃上げのための政策を進めるなか、他産業大手の大多数でベースアップの回答が出され、今年度の回答に大きく期待をしていましたが、ゼロ回答に落胆させられました。第 1 回団交でこの回答の根拠を求めました。

池田常任理事より「組合のアンケート結果でも、教職員の暮らし向きは悪化しており、ベアの要望が高いことは承知している。2023 年度決算結果がまだ出ていないので、第 1 回団交の段階でベースアップ、手当について根拠を添えて回答できない、人件費については非常に慎重な対応が望まれる」との曖昧な回答でした。

診療報酬改定によるベースアップ評価料については「6 月からの申請はしないこととした。全体の教職員の賃上げと含めて検討中である」との回答でした。

何としても今春闘でベースアップを勝ち取るためには、一人でも多くの教職員の生の声を届ける必要があります。そこで、緊急アンケートを実施します。忌憚ないご意見をお寄せください。こちらの QR コードから👉



「ゼロ回答に対する 緊急アンケート」



支部組合員集会

5 月 29 日（水）11 時～14 時 30 分 17 時～19 時
（ZOOM 併用）

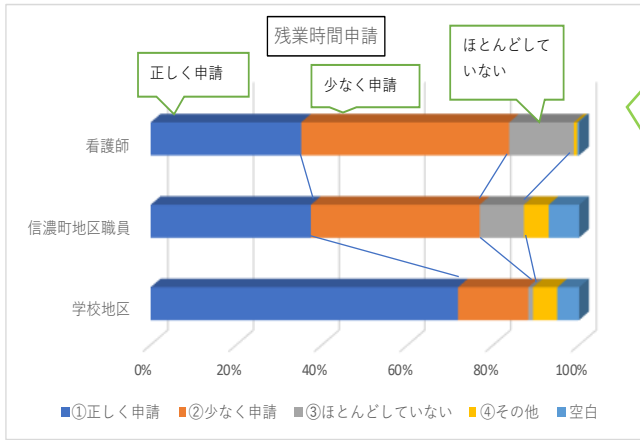
6 月 5 日の病院問題団体交渉に向けて集会を行います。
参加できる時間帯に組合事務所に集まってください。

飲み物、お菓子用意します。



労働時間管理に関するアンケート報告

Q：残業した場合、勤務終了時間を正しく申請していますか？



正しく申請していない理由

- ・残業が多いと師長に呼び出されるからつけない。
- ・自分の能力に合わせて申請するように言われている。
- ・入力を後日行おうと思ってもタイムリフォーマー(看護師の残業申請方法-師長が承認)が入力できない。
- ・月45時間以上超えると上司から指導を受ける、苦言を呈される。
- ・業務内容により申請できる上限が決まっている。

学校地区職員に比べ、看護師、信濃町職員は半数も正しく申請できていません。

2017年に厚生労働省発出の「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」。これは電通で発生した長時間残務を理由とした過労自死事件を受け、長時間労働を経営者が果たさなければならない労働時間の適正な管理を推進することを目指し出されたものです。毎年労働組合との団体交渉では「働いた時間が労働時間。正しく時間管理ができていない状況である」と訴えています。

当院では約10年前に労働基準監督署の指導で、ICカードでの出勤記録との乖離について調査し、多額の残業代が支払われました。しかし、今なおこの経験を生かさず、改善されない職場環境がアンケートに出ています。声を上げられない職員の声を毎年伝えているのですが、有効な策が講じられていません。

長年にわたり、時間外労働の申請問題が放置されていることから、5月を残業申請の強化月間とします。
「正しく残業を申請しましょう！」
皆で意識して取り組みましょう。

2024 春闘団交日程

- 5/20 (月) 育児支援+職員問題
- 5/27 (月) 慶應義塾規約改定+一貫校教員問題
- 6/5 (水) 病院問題 ※病院
- 6/17 (月) 大学教員問題 ※財務理事出席
- 6/26 (水) 全体問題

労働組合加入届

※組合へは専任・非専任問わず、加入できます。組合への加入をご希望の方は、下記にご記入後、切り取り、慶應義塾労働組合四谷支部まで塾内便にてご送付ください。(組合紹介パンフを希望の方は、k-yotsuya@keio-union.or.jpにご連絡ください)。

フリガナ 記入日：20 年 月 日 職員番号： 職場名：

氏名 生年月日： 年 月 日 職員・看護師(いずれかに○)

メールアドレス



こちらからも
加入できます